

1. 取組結果											
取組事例											
	従業員ががん検診を受診しやすい環境の整備、従業員・従業員家族へのがん検診の受診動員	従業員のがん検診受診状況の把握（様式3による）	社内・団体内でがん予防を推進する人材の育成、がんに関する社内勉強会の開催	県民等へのがんについての情報提供（知識、予防、窓口等）、県民等向けのイベントの実施・参加	がん患者（がん経験者含む）である従業員に対する支援・配慮	がん患者向けのイベントの実施・参加、がん患者団体への活動場所（患者サロン等）の提供	パンフレットやポスターの作成等、パンフレットやポスターの配布・窓口頒布によるがん検診の受診動員	県民等へのがん検診受診動員への協力	商品パッケージ等でのがん検診受診啓発等の実施	がん検診の受診啓発イベント（検診受診キャンペーンも含む）の実施	その他（右欄に記載）
アフラック生命保険㈱	健康診断の受診は、労働安全衛生法44条・66条5項で、会社、役員員双方に定められた義務であることや背景・目的を伝えようとして、受診動員を実施。インターネット学習機能での啓発やがん検診の勤務日扱い、交通費・がん検診費用の会社負担、個別受診動員を行っている。	埼玉総合支社では把握しておらず、人事部が把握している	社内勉強会やEラーニングを実施している	がん検診啓発チラシを作成し、情報提供している	がんや病気にかかっても自分らしく安心して働ける環境づくりのため「がん・傷病 就労支援プログラム」を策定、「相談」「両立」「予防」の3つを柱とし取り組みを進めている。		がん検診啓発チラシを作成し、情報提供している	保険募集時にかん検診動員ちらしを用いて、「がんの早期発見」をお伝えする活動を推奨している。	がん検診の啓発やがん検診の受診動員ちらしを作成している。		
埼玉縣信用金庫	健康保険組合にて、30歳・35歳・40歳以上の職員は毎年人間ドック受診を案内している。人間ドック受診にあたっては費用助成を行っている	健康保険組合を通じて受診率を把握している	がん検診サポーターへ19名へ自主学習を実施した								
埼玉りそな銀行				・がん保険の販売・ご案内を通じて、情報提供を実施。 ・保険会社と合同で、来店顧客向けにがん啓発イベントを開催。							・店頭でのがん保険販売を通じ、がんへの備えの必要性を周知。
東京海上日動火災保険㈱							がん検診受診に関する啓発チラシ、ポスターの社内掲示。 埼玉県保健医療部疾病対策課作成の「がんフックストップ」相談チラシの窓口配布。	弊社と生損保代理店委託契約を結んでいる代理店（県下200店以上）に対してがん検診受診推奨を行っている。		1年に1回がん関連のイベントを実施している。 2023年度は10月13日に実施。	
三井住友海上あいおい生命㈱	社内各部署から積極的に啓発メールが発信されており、がん検診受診率9%前後の高水準を維持している。	社内HPでのがん検診受診率の公表とともに、定期健康診断受診率100%を維持している。	外部講師を招き社員・代理店およびその顧客も参加の『がんセミナー』を複数回実施。	当社作成チラシを配布しがんの早期発見促進。青行と弊社提携代理店とともに県民向けのがん検診受診促進セミナーを開催。	私傷病の報告ルールを定め、一定期間以上私傷病で休務する社員に対して、労働安全衛生法等で規程された会社の「健康配慮義務」を遂行し、必要に応じて専属産業医の意見に基づく就業上の措置を行っている。		青行と共同でのがん検診受診促進チラシを作成・配布。	がん検診受診促進チラシ作成・配布をし受診動員	弊社サービスパッケージのMSケアを活用した、がんの一次スクリーニング検査を実施し、がん検診受診促進。	ピンクリボンワークへの参加	
武蔵野銀行	・胃がん、肺がん、大腸がん→人間ドック（35歳以上）の検査項目 ・乳がん、子宮頸がん→婦人科健診として健保組合から補助（3千円） ・胃がん→チェックキットでの血液検査（補助5千円） ・新規健保加入者へ小冊子「がん検診のススメ」を配布			健保組合ホームページに埼玉県市町村の担当窓口をリンクし、市町村の行つがん検診も併せて推奨（今年度より開始）	休業時～職場復帰前～復帰後、産業保健スタッフによる定期的なフォローを実施。職場復帰においては、就業上の配慮を行い両立支援をしています。		社内イントラ向け健康情報（がん予防含む）ニュースを発信しています。			2023年10月に従業員向けに「がん啓発キャンペーン」と称して、1月の1ヶ月間啓発活動を実施。主な取り組み：ピンクリボン・がん予防啓発カードの配布、乳がんのポスターや模型の展示、がん関連情報ニュース発信等。	
埼玉県中小企業団体中央会	毎年健康診断において希望者にオプションでのがん検診を勧奨し費用を全額負担している。			相談窓口及び巡回訪問等でのパンフレット配布など、県内中小企業組合及び中小企業者に対して、がん検診の周知、啓発、受診動員等を積極的に実施した。			相談窓口及び巡回訪問等でのパンフレット配布など、県内中小企業組合及び中小企業者に対して、がん検診の周知、啓発、受診動員等を積極的に実施した。	相談窓口及び巡回訪問等でのパンフレット配布など、県内中小企業組合及び中小企業者に対して、がん検診の周知、啓発、受診動員等を積極的に実施した。			
法人会連合会	当連合会職員（5名）への取組として、浦和法人協会が取り纏めている「（一財）全日本労働福祉協会」が実施する健康診断への申込を推奨し、毎年全員が受診している。	様式3記載	3月21日の理事会開催あとに「埼玉県保健医療部疾病対策課様」にご登壇いただき研修会を実施36名参加。	「がんワンストップ相談」チラシを傘下15単位の事務局へ送付、活用依頼。			「がんワンストップ相談」チラシを傘下15単位の事務局へ送付、活用依頼。				
（一財）医療・福祉・環境経営支援機構「埼玉」	財団交流会（2023.9.12：第144回交流会）でのがん治療と仕事の両立の講座を実施し、参加者（従業員）へのがん検診受診推進の取組みを行った。		財団交流会（2023.9.12：第144回交流会）でのがん治療と仕事の両立の講座を実施し、参加者（従業員）へのがん検診受診推進の取組みを行った。			リレー・フォー・ライフ川越（2023.9.17）に参加し、がん啓発・寄付を行った。				リレー・フォー・ライフ川越（2023.9.17）に参加し、がん啓発・寄付を行った。	
西武鉄道	職域による胃がん検診の実施（50歳以上、隔年）	職域による胃がん検診結果の受領、事後の専門医受診勧奨	産業医による生活習慣病予防講習会の開催（40歳、60歳社員対象）								
川口信用金庫	がん検診受診促進宣言をして職場、市町村が実施するがん検診の受診を奨励。健康保険組合から大腸、前立腺、子宮の各がん検診へ補助金があります。	職場で実施する大腸がん検診、子宮頸がん検診の受診状況を把握しています。	がん検診受診推進サポーターを1名養成しました。		積立傷病休暇、長期療養欠勤等の各制度により支援をしています。						
埼玉県経営者協会	・定期健康診断におけるがん検診の受診	・定期健康診断におけるがん検診の受診			・該当者なし						
日本生命	【全国】定期健康診断の全員受診。人間ドック推奨（営業管理職・単身赴任は必須。健保組合からの補助実施）。【埼玉】県の職員を招いたがん検診受診推進サポーター研修を内勤・営業職員合わせて約73名が受講した。（R5.10）※埼玉東支社、熊谷支社	従業員への定期的ながん検診受診に関する調査を実施し、全社・県内事業所（さいたま支社、川越支社、埼玉東支社、熊谷支社）の従業員のがん検診受診率を把握。	三大疾病における知識向上の研修や各自学習を実施。社内NICE-NET（衛生テレビ）等による定期的な研修の実施。	くまがやピンクリボンの会より講師を招き「乳がんセミナー」を実施し、約600名を動員。（R5.9）※熊谷支社 くまがやピンクリボンの会と戸田中央メディカルケアグループより講師を招き「乳がんセミナー」を実施し、約260名を動員。（R5.9）※さいたま支社	【全国】治療・介護サポート積立休暇（傷病特別休暇）取得可能（不就業1日目から取得可能）。社内相談窓口への相談体制を用意。	県の職員を招いたがん検診受診推進サポーター研修を内勤・営業職員合わせて約730名が受講した。（R5.10）※埼玉東支社、熊谷支社	・当社独自で自治体ごとのがん検診受診率データが分かるピラを作成し、配布。（通年） ・当社独自でがん検診の受診案内が届いたかの確認を通して、がん検診の啓発を行うピラを作成し配布。（R5.6） ・県のがん関連チラシを配布。（通年）※埼玉4支社（さいたま支社、川越支社、埼玉東支社、熊谷支社）全て取組	地域住民の皆さまへ当社独自の「がん検診に関するアンケート」を実施。（R5.7-11） ⇒アンケート結果を集計し、年明けに貴県・地域住民の皆さまへ結果をフィードバック。 ※埼玉4支社（さいたま支社、川越支社、埼玉東支社、熊谷支社）全て取組	県の職員を招いたがん検診受診推進サポーター研修を内勤・営業職員合わせて約730名が受講した。（R5.10）※埼玉東支社、熊谷支社		
明治安田生命	・乳がん子宮頸がん検診受診に関しては「巡回型乳がん検診」を実施（無料）、子宮がんに関しては人間ドックでの子宮がん検診に受診費用補助（上限3,000円）を実施。また「HPVワクチン」の接種費用補助（5,000円）を実施 ・乳がん検診啓発として乳房チェックセットを貸出	乳がん子宮頸がんに関しては把握している。（全社データ。職員+営業職員）乳がん検診は52.3%、子宮頸がん検診は36.6%	各支社で営業職員向けに社内勉強会を複数回実施	県内5支社で12回セミナー実施。149名のお客さまにご参加いただき「そうだったのか！がんセミナー 死亡率が低下した新たなリスクとは？」大宮「がんセミナー」川越「がんセミナー～陽子線治療の現場から～」(3回)所沢「がん治療最前線」川越「がんセミナー」(2回)熊谷「がんセミナー～がんの早期発見・早期治療！そして最新の治療とは？～」(2回)	「がん等の重度疾病者」および「介護支援が必要な者」を対象とする両立支援策として選択的週休3日制を導入	実施していません	埼玉県にご協力いただき「子宮頸がん予防動員チラシ」を作成し8-9月にかけて当社既契約者や営業職員の担当企業、担当地域でチラシ配布し予防動員を実施	全社で9/26～1/31に「がん予防アンケート」を実施。アンケート実施にあわせ、がん検診受診動員もおこなう。県内では5,581の回答（全国で68,346）	当社の主力商品「ベストスタイル」に「がん検診支援給付金付女性がん保険特約」を付加すると、被保険者が乳がん検診または子宮頸がん検診のいずれか1つ以上を受診し、その結果異常指摘がなく、かつ女性ががん診断保険金、女性がん・上皮内新生物診断保険金のいずれも支払いがない場合に2万円の給付金を支払う。女性顧客にかん予防として検診受診を勧奨するとともに、商品提案をさせていただいている		